

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年07月24日

計画の名称	防災子ども安全まちづくり計画（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	水戸市												
計画の目標	大震災等の災害時における物資の輸送や、住民の緊急時非難に資する社会資本の老朽化対策や事前防災・減災対策等を、水戸市寿小学校区、下大野小学校区、第四中学校区、稲荷第二小学校区、吉沢小学校区（吉沢市民センター周辺）において、一体的、総合的に実施し安全安心な地域づくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	140	A	137	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	2.14	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成30年度当初	令和2年度末	令和4年度末
1	道路の新設改良及び通学路の拡幅整備により、小中学生の歩行空間の創出を図る。あわせて通学路に係る交通安全教室等の交通安全普及促進事業を実施することにより、小中学生の交通安全に対する意識の向上を図る。整備計画路線は緊急輸送道路に接続、もしくは近接する路線であることから、整備により緊急時の避難路及び緊急車両の進入路として、迅速な消防活動への寄与を図る。			
	通学路の整備状況(延長)	0%	25%	67%
2	通学時の交通安全を確保するため、水戸警察署及び学校関係者と連携をとり交通安全施設等の点検を行い、点検結果に基づいた通学路整備を実施する。自主防災組織、学校、民間事業者等と連携し、指定避難所である小・中学校等を会場に防災訓練を実施し次世代防災リーダーの育成を進めるとともに、災害時に即応できる地域の防災体制づくりとともに、地域住民の防災に対する理解と防災意識の高揚を図る。			
	小中学生の通学路状況についての満足度	10%	18%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------



C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	水戸市	直接	水戸市	-	-	（市）寿小学校区ゾーン3 0整備	路面表示等	水戸市						3		-	
		路面表示の視認性が向上することにより，通学児童をはじめとする歩行者の安全確保に寄与する。また，基幹事業（A13-1）の道路整備と一体的に実施することにより，地区全体の地域防災力向上																		
											小計						3			
											合計						3			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 水戸市建設部建設計画課が実施	事後評価の実施時期 令和6年度
	公表の方法 水戸市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の通学路において用地取得が難航しており整備が遅れている。そのことにより、小中学生の通学路に対する満足度も目標を下回った。</li> <li>整備が完了した通学路については、通学路に対する満足度も事前評価時に比べて増加した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>次期計画においても、小中学生の歩行空間の創出を図るため、引き続き通学路の拡幅整備等を行っていく。 また、用地取得が難航している路線についても、引き続き用地交渉を行い事業の進捗を図っていく。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	67%
	最終実績値	9%
一部の通学路において用地取得が難航しており整備が遅れているため。		
2	最終目標値	50%
	最終実績値	41%
一部の通学路において用地取得が難航しており整備が遅れているため。		